

広報

うわじまちくしょうぼう

第90号

宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.nanpu.or.jp/>



春の火災予防運動

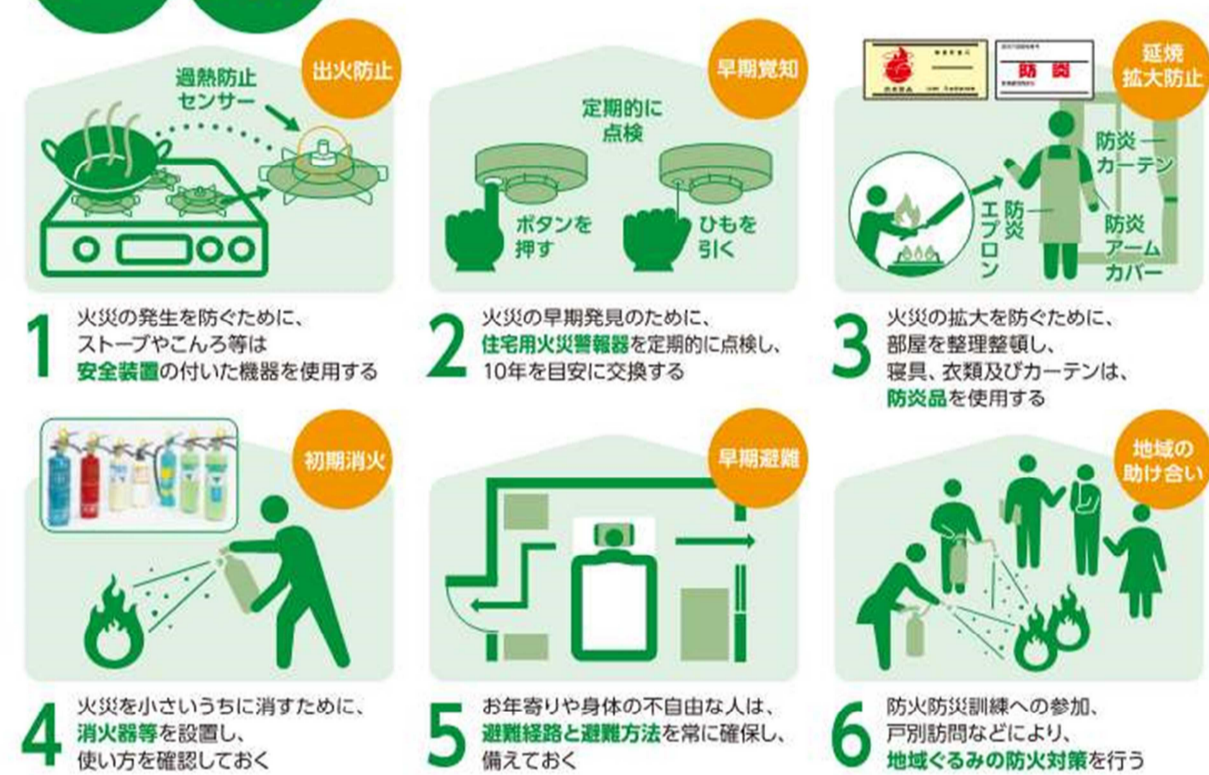
3月1日(火)～3月7日(月)
「おうち時間 家族で点検 火の始末」

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

4つの習慣



6つの対策



もし目の前で爆発的な火災が起こったら!

もしものときの対応について日頃から備えておきましょう

1 まずは普段からの心得

利用する建物の避難経路を確認しておきましょう

- 普段から利用する建物の複数の避難経路を確認しておきましょう
- 避難障害となる物品などが階段や通路に置かれていないか確認しておきましょう

2 目の前で爆発的な火災! まず何を?

避難しましょう

- 119番通報、初期消火も重要ですが、爆発的に燃焼拡大するような火災の場合、避難することを最優先にしてください

3 出入口が炎で塞がれてしまったら...どうする?

身の安全を確保し、火災から遠い出入口から避難しましょう

避難器具がある場合は使いましょう

窓がある場合は助けを呼びましょう



- 避難経路が一つしかない判断し、命の危険を感じた場合には、少々無理をしても避難を試みてください

大阪市消防局「爆発的な火災に備えましょう」をもとに作成

令和3年中の火災・救急概況

火災31件・死者6名

電気火災に注意!

普段から点検、清掃し電気火災を予防しましょう

令和3年中に発生した火災は31件で、前年の32件から1件の減少となっていますが、死者が6名、負傷者が5名発生しており、特に死者が非常に多くなっています。

また、火災種別で見ると建物火災が最も多い18件で6割近くを占めています。火災の原因は「たき火」が8件で最も多く、次いで「たばこ」、「放火」各3件などとなっています。

①コンセントは定期的に清掃し
トラッキング火災を防ごう

②電気コードを家具などの
下敷きしない

③タコ足配線はしない

④電気コードを束ねて使わない

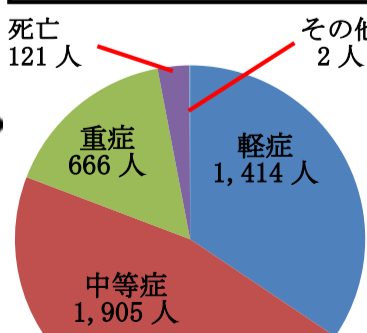
救急4,548件・搬送4,108人

令和3年中の出場件数は4,548件(前年比185件増)、搬送人員は4,108人(前年比135人増)で、平成29年以來の増加となっています。事故種別ごとにとみると、急病が3,066件で全体の70%近くを占め、次いで一般負傷735件、転院搬送433件などとなっています。

また、搬送人員を傷病程度別にみると、軽症が1,414人で全体の30%以上を占めているのが現状です。救急車は限りある資源ですので、救急車の適正利用にご協力下さい。

救急車利用率
20.7人に1人

傷病程度別搬送人員



その119番
本当に緊急ですか?



えひめ医療情報ネット
モバイル(外部リンク)



休日・夜間の当番医は
こちらから確認できます

火災による死者のおよそ半数は逃げ遅れ! 住宅用火災警報器 付けておけばよかったです! 済みません!

住宅用火災警報器は火災を早期に知るために非常に有効です。

火災から大切な命と財産を守るために
必ず住宅用火災警報器を設置しましょう



すでに設置しているお宅でも
定期的に点検をしましょう



住宅用火災警報器の設置効果

○下図のとおり、住宅用火災警報器を設置している場合は、設置されていない場合と比べて死者数、焼損床面積は半減、損害額は4割減となっています

